

## 平成29年度第1回下野市総合計画審議会 会議録

日 時 平成29年8月1日(火) 午後1時30分～午後3時30分  
場 所 下野市役所庁舎 304会議室  
出席委員 中村祐司会長、出口芳伸委員、中村節子委員、高橋芳市委員、三橋明美委員、高田憲一委員、高山和典委員、坂本英希委員、川俣一由委員、諏訪守委員、伊沢隆之委員、稲田智秀委員、佐間田香委員、山口貴明委員、鈴木祐孝委員、前原保彦委員、小島恒夫委員、島田実委員  
欠席委員 江田俊夫委員、山口富男委員、小幡洋子委員、赤穂敏広委員  
出席者 広瀬市長、板橋副市長、長総合政策部長、山中総務部長、手塚市民生活部長、山中健康福祉部長、高德産業振興部長、石島建設水道部長、坪山教育次長  
事務局 谷田貝総合政策課長、浅香主幹、相馬主事  
傍聴者 無

### ○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 会長選任
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
  - (1) 総合戦略における平成28年度の進捗状況について
  - (2) 地方創生関連事業の取組状況について
  - (3) その他
- 7 閉会

### ○開会

(事務局) 平成29年度第1回下野市総合計画審議会を開会する。

### ○委嘱状交付

(事務局) はじめに、広瀬市長より委嘱状の交付を行う。

[委嘱状交付]

## ○市長あいさつ

(事務局)

開会にあたり広瀬市長よりごあいさつ申し上げます。

(広瀬市長)

皆様こんにちは。本日は暑い中、下野市総合計画審議会にご出席いただきありがとうございます。任期満了に基づく委員の改選に伴い、先ほど委嘱状の交付を行わせていただいた。委員の皆様の顔ぶれを拝見すると、様々な分野でご活躍をされている方々であります。現場で培われた経験等を踏まえ、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本審議会において審議いただき、平成27年度に策定した「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）に基づき、現在、本市においても全庁をあげて地方創生の推進に取り組んでいるところである。この総合戦略においては、設定した基本目標の数値目標及び具体的な施策に係る重要業績評価指標（いわゆるKPI）の達成度について、毎年度検証を行い、平成31年度の目標値の達成に向け、進行管理を行うこととされている。本日の会議は、総合戦略に掲げている各指標について平成28年度の進捗状況を報告させていただき、客観的な検証を行うため、委員の皆様より意見・提言をいただくものである。委員の皆様には、忌憚のないご意見をお願いしたい。また、本日いただいた意見・提言については、庁内組織である地方創生推進本部において検討し、次の会議において回答や対応を報告させていただく予定となっているので、よろしくをお願いしたい。

## ○会長選任

(事務局)

下野市総合計画審議会条例第5条第1項において「審議会に会長を置き、委員の互選により定める」とされている。広瀬市長を（仮）議長として、会長の選任を行う。

(広瀬市長)

会長選任について、会長が決定するまでの間、進行を務めさせていただく。会長は委員の互選となっているが、委員の皆様のご意見をお願いする。

(三橋委員)

推薦として、宇都宮大学教授の中村祐司委員をお願いしたい。

(広瀬市長)

ただいま、宇都宮大学教授の中村祐司委員を推薦するご意見がありました。委員の皆様、いかがか。

(委員)

<異議なし>

(広瀬市長)

ありがとうございます。中村祐司委員は、これまでの経緯も熟知しており、適任ではないかと思う。それでは、会長を中村祐司委員に決定させていただく。会長が選任されたので、（仮）議長の任を解かせていただく。

(事務局)

ありがとうございました。中村会長は、会長の席へのご移動をお願いする。

## ○会長あいさつ

(事務局)

会長より、ごあいさつをいただく。

(中村会長)

皆様、こんにちは。また、会長に選任いただき、誠にありがとうございますございました。私は一大学の教員に過ぎませんが、これまで下野市の総合計画審議会に携わらせていただき、委員の皆様はじめ行政の現場で実際に起きている課題を、生の声としてお聞きできる機会として、私にとっても大変勉強になる貴重な場となっている。一昔前までは、総合計画審議会では総合計画の策定のみを行っていたが、地方創生までを扱うようになった。国策として地方創生が叫ばれて数年が経つが、これからが私たち地方にとっては正念場ではないかと思う。そのような状況の中で、下野市の総合戦略には、重要業績評価指標であるKPIが115項目もあり、これは県内のみならず、全国的に見ても珍しい。これだけ多いということは、多面的、多角的に行政の取組を地方創生として考えていこうという、下野市のやる気の表れだと私は受け止めている。会長として、精一杯務めさせていただくので、委員の皆様におかれましては、限られた時間ではありますが、積極的なご意見、前向きなご発言をお願いできればと思う。簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。本日はどうぞ、よろしく申し上げます。

(事務局)

中村会長、ありがとうございます。

ここで、審議会条例第5条第3項の規定に基づき、会長の職務代理者のご指名を、中村会長よりお願いしたい。

(中村会長)

職務代理者として、昨年度に引き続き、公募委員の中から小島委員にお願いしたい。

(小島委員)

ただいまご指名いただきました、小島です。職務代理者を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

中村会長、ありがとうございます。また、小島委員におかれましては、職務代理者としてよろしくお願いいたします。ここで、市長につきましては、公務のため退席とさせていただきます。なお、本日は庁内組織である下野市地方創生推進本部より、板橋副市長、各部長が出席しております。

## ○議事

(事務局)

審議会条例第6条に基づき、会長が議長となります。議事進行を中村会長、お願いいたします。

(中村会長)

はじめに、会議の成立、会議録署名人の確認を行う。本日は欠席4名であり、出席者が定数22名の過半数を超えているため審議会条例第6条第2項により会議は成立となる。本日の会議録署名人は、

慣例に従い名簿順により出口委員と中村（節）委員に願います。  
続いて、議題に入る前に、事務局より資料の確認をお願いしたい。  
(事務局) [配付資料の確認]

(1) 総合戦略における平成28年度の進捗状況について

(中村会長) 本日は、2時間ということで限られた時間ではあるが、議題(1)がメインの議題となるので、こちらに多めに時間を割きたい。委員の皆様も事前に資料を拝見し、様々なご意見があると思う。極力多くの委員の方に発言をしていただきたいので、お一人お一人の発言の時間が十分に取れないかもしれないが、ご了承願いたい。それでは、議題に入る。議題(1)「総合戦略における平成28年度の進捗状況について」、事務局より説明を願う。

(事務局) 本年度はじめての会議であり、新しく委員になられた方もいるので、改めて本審議会の位置付けや役割を確認させていただき、平成28年度の進捗状況を報告する。

◆下野市の推進体制と年間スケジュールについて説明(資料1・資料2)

- 下野市では外部組織である総合計画審議会を筆頭に、その下部に内部組織としての地方創生推進本部を設置している。
- 推進本部では、総合戦略の進行管理や審議会からの提言等への対応を協議するとともに、担当職員からなる専門部会でたたき上げた地方創生施策の連携調整や実施に向けた検討を行う。
- 本日の第1回となる審議会においては、7月5日の推進本部で取りまとめたKPI等の進捗状況について検証していただくものである。
- 審議会の役割としては、PDCAサイクルにおける「C」チェック(検証)と「A」アクション(施策の見直しや戦略の改訂)に向けた提言となる。総合戦略の検証を進める中で、目標値の修正があれば、審議会の中で必要に応じて見直しを図ることとされている。
- 審議会で見意見・提言があれば推進本部へフィードバックし、協議していく。そして、その協議内容や対応状況について、1月に予定している第2回の審議会にご報告させていただく。その対応状況について審議会で見意見があれば再度提言していき、審議会と推進本部の間でのキャッチボールを行っていく。
- 平成28年度は、本審議会において10項目のKPIについて修正を行い、総合戦略の改訂版を策定した。

◆総合戦略における平成28年度の進捗状況について説明(資料3)

- 総合戦略は平成27年度から平成31年度までの5か年計画であり、最終年度である平成31年度の目標値を定めている。
- 評価分析シートでは、平成31年度の目標値の達成に向け、経年的に進捗状況を確認するため、平成27年度から平成30年度までの各年度の目標値を新たに設定している。また、進捗度合を判断するにあたり、極力、数値化できるものは数値化し、達成度を記入している。

- 平成28年度の達成度は、「A評価」が63項目、「B評価」が23項目、「C評価」が5項目、「D評価」が1項目、「－（数値化ができないもの）」が23項目である。
- 115項目のうち、達成度のやや低い項目及び変更等が生じる項目を中心に以下説明。
- 2ページ「9 技能検定合格者表彰者数」は、平成28年度より表彰式を10月の産業祭に行うことになり、表彰者数としてしまうと半期分の実績値となることから、年度ごとの適切な指標とするため「表彰者数」から「合格者数」に変更する。
- 3ページ「12 新メニューの提供数」については、すでに目標値を達成したため、「延10件」から「延20件」へ上方修正する。
- 4ページ「15 市内農産物直売所の販売額」は、平成28年度においても順調な伸びをみせており、また、平成29年度に石橋地区都市農村交流施設が開所となり、販売額の増加が見込まれることから、目標値を「10億円」から「11億円」へ上方修正する。
- 4ページ「17 新規就農者数（年間）」について、指標の説明の修正を行う。これまでは新規で就農奨励金を受けている方を就農者数としていたが、親元就農等も含めて新たに就農した方も加えるものである。このKPIは、市内で農業従事者を増やすことを目標とする指標であり、就農奨励金の活用の有無にかかわらず、新規の就農者と変更することの方が、より適切な指標になるためである。
- 4ページ「18 担い手の農地集積率」は、当初の目標値の達成が見込まれるため、「50%」から「52%」へ上方修正する。
- 6ページ「24 新規住宅取得者家庭菜園整備件数」について、平成29年度に定住促進住宅新築補助が新たに創設されたことで、より制度が充実したため、併せた活用のPRを行っていく。したがって、指標を「新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数」に変更する。
- 7ページ「25 生垣奨励金補助件数」は、実績値が0件のため達成度が「D」となってしまった。この補助は一度のみ利用が可能で、上限が5万円という制度である。生垣は手入れに手間がかかることから敬遠されることもあり、年々減少していることが理由として考えられる。
- 7ページ「26 木造住宅耐震診断補助件数」については、平成29年度より耐震建替の補助が追加されたため、指標を「木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数」へ変更する。
- 8ページ「34 下野市観光協会HPアクセス数」については、目標値をすでに達成しているため、「15万5千件」から「21万件」へ上方修正する。
- 9ページ「37 観光自転車利用者数」については、目標値を当初の「700人」から「1,300人」に上方修正する。
- 15ページ「61 子育て応援HP『ママフレ』アクセス数」については、達成度が「C」となっている。これは、これまでの周知の結果、各種子育て制度が定着したことに加え、市のHPでも必要とする情報が収集できること、さらに民間の情報サイトなどが増えてきたことなどが、アクセス数が下がった要因だと考えられる。
- 18ページ「70 出会いふれあいサービス事業利用者数」は、当事業が平成29年度より、一般介護予防事業の一環として展開することとなり、ふれあいサービス

事業としては廃止となることから、指標としても廃止としたい。

○20ページ「80 特定健康診査受診率」について、目標値である「60%」は国の指針に基づいて設定をしたが、全国的に見ても目標値と実績値に開きがある状況である。下野市は国や県の実績値に比べても高いが、目標値との関係で達成度が「C」となってしまった。

○29ページ「114 共同連携事業数」は、小山地区定住自立圏での協定に基づき、共生ビジョンを策定し、広域連携事業として40事業がはじまった。これにより目標値を大きく超えたため、「23事業」から「66事業」へ上方修正する。

(中村会長) ただいま、事務局より説明があった。KPIが115項目と多いので、事務局では項目を絞って説明いただいたが、それ以外の項目でも結構であるので、委員の皆様からのご意見、ご質問をお願いしたい。項目が大変多いので二つに分け、まずは、基本目標①から③まで、評価分析シートの16ページまでの内容でお願いしたい。

(小島委員) 「22 土地区画整理事業整備面積」について、石橋駅周辺は入っているのか確認したい。

(石島建設水道部長) お示した数値には、石橋駅周辺地域も含まれている。

(小島委員) 石橋駅周辺土地区画整理事業の5.5haの開発については、地権者との関係もあり止まっているようであるが、問題が解決する見通しは分かっているのか。

(石島建設水道部長) ご指摘の通り、数名の地権者の同意が得られていないため、現在、5.5haのうち約4.8haまでの進捗状況となっている。決して事業自体が止まっているわけではなく、解決に向け、検討を進めているところである。地権者の方に同意をいただけるよう、丁寧に説明をしていきたいと考えている。

(小島委員) だいぶ月日が経っているので、進めていただくようお願いしたい。

(中村会長) 指標や目標などの変更などではなく、項目に関する質問ということですね。次の方どうぞ。

(島田委員) 二点ほど、質問をしたい。まず一点目は、「2 空き店舗奨励金等活用件数」についてであるが、平成28年度の実績で7件とあるが、この7件は現在でも営業を続けているのか。

(高德産業振興部長) 平成28年度の7件は、飲食店、美容室、学習塾等であるが、現在も営業を続けている。

(島田委員) リフォーム補助の記述があるが、リフォームはどうか。それら7件は、新規での開店なのか、それともリフォーム補助も活用しているのか。

(高德産業振興部長) 空き店舗奨励金7件は新規であり、その内4件がリフォーム補助でも認定され、両方の補助を併用している。

(島田委員) 続いて二点目であるが、「6 創業資金利用件数」の実績7件に関しては、営業を継続しているのか。

- (高德産業振興部長) 7件は現在も営業を継続している。また、こちらは創業資金の貸し付けであるが、返済も滞りなく行われている状況である。
- (中村会長) 創業に関して奨励金や補助、貸し付けを行い支援することも大事だが、その後も継続して営業を続けることができるようなフォローをして欲しい。また、そのためにも継続されているかなどを、きちんと調査して、このシートに記述をしておく方が分析として良いだろうというご指摘かと思われる。
- (島田委員) その通りである。
- (前原委員) 中村会長が、只今ご指摘された、その後の経過について追っていくことも大事だが、例えば「10 近隣市町等との共催による合同説明会の開催」では、目標が実施する「回数」になっているが、何回開催されたかという「結果」は分かるが、それを開催したことで「効果」がどうだったのかが見えてこない。効果まで記載をすると、より良い評価が行えるのではないか。
- (中村会長) 内容によっては、効果を検証するのが難しいものもあるかもしれない。下野市は、KPIが115項目と多いので、評価シートは極力数値化し、簡潔にしている。目標が「回数」になっているKPIについては、各事業担当者は、その点もきちんと意識し、「効果」まで評価シートに記載するよう極力務めていただきたい。
- (高橋委員) 「26 木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数」に関して、30年以上も前の建物になると耐震改修を行うのに1,500万円もかかり、建て替えの方が良いというケースも多いと聞く。耐震建替の補助が加わったということだが、補助はいくら出るのか。
- (石島建設水道部長) 平成29年度から新たに加わった耐震建替の補助については、1件につき80万円となっている。先ほど、事務局からの説明の中でもあったように、旧耐震基準時代に建てられた建物で、耐震診断を受けてもらい、その結果、耐震補強が必要であるとされた建物のうち、新築にする場合に対象となるものである。
- (中村会長) 指標の訂正により「及び」となったが、これは木造住宅の耐震診断を行い、さらにその上で耐震改修や建替を行う方への補助件数を実績としてカウントするということよろしいか。
- (石島建設水道部長) その通りである。
- (中村会長) 承知した。その他、いかがか。
- (中村(節)委員) 「12 新メニューの提供数」において、ウェスティンホテルで開催されたかんばんサミットにて開発されたメニューの試食会に参加をしたが、高級な食材が使用されていたり、調理に手間のかかるものが多いように感じた。本日いただいた「かんばん簡単レシピ」に掲載されているメニューとは、数も内容も異なるように思うが、これらメニューをどのように活用していくのかお聞きしたい。
- (高德産業振興部長) かんばんサミットでは、かんばんと栗の羊羹、かんばんと

フォアグラのミルフィーユ仕立て、かんぴょう麺、かんぴょうすき焼き等のメニューが開発されたが、あくまで今回作成したレシピは「簡単レシピ」ということで、調理に手間のかからないもの、さらに、材料も調達しやすいもので作れるレシピを掲載した。レシピに掲載されているかんぴょうとじゃが芋の白いスープは、かんぴょうサミットで出されたメニューではないが、簡単に作れるレシピということで、調理長の岩根氏にご協力いただき考案した。また、白いかんぴょう巻きについては、ウェスティンホテルでランチのメニューとして提供されている。なお、この簡単レシピはホームページでも掲載しているところである。

(中村(節)委員) わかりました。この簡単レシピを拝見すると、簡単で美味しそうなので、主婦として私も作ってみようと思うものが多い。簡単レシピには、17のメニューが掲載されているので、実績値は17件となるのではないかと。

(高德産業振興部長) 簡単レシピについては、以前からあるメニューのレシピも含まれており、新メニューの開発には該当せず、実績値には入れていない。

(中村(節)委員) 次に、「24 新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数」について、「制度が充実したことをPRしたい」との記載があるが、どのようにPRしていくのか。まずは、市のシティプロモーション用サイトなどに掲載すべきである。

(石島建設水道部長) 対象が東京圏ということもあるので、そこも含め、PRについては順次、検討していく。

(中村(節)委員) 是非、積極的なPRをよろしくお願ひしたい。

(長総合政策部長) ただ今、ご指摘のあったシティプロモーション用サイトについてであるが、昨年度は、動画も100本以上制作をしたが、再生回数思うように伸びなかった。本年度は、その反省も踏まえ、ブランディング動画ということで、より注目を集め、再生回数が伸びるような動画を、時間をかけて制作する予定であるので、よろしくお願ひしたい。

(中村会長) では他に、ご意見のある方お願ひしたい。

(出口委員) 基本目標③における「合計特殊出生率」について、実績値が入っていないが、ある程度の数値が知りたいというのが一点。もう一点は、総合戦略における「基本的な考え方」には抽象的な記載が多いが、とりわけ分かりやすいものとして、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現ということで、結婚・出産・子育ての切れ目ない支援があると思うが、例えば、基本目標である合計特殊出生率の目標値1.60と、両親学級参加率や不妊治療助成件数などの各KPIがどのような関係にあるのか、基本的なところを確認したい。

(長総合政策部長) 総合戦略に掲げているKPIの目標値がすべて達成されれば、基本目標である合計特殊出生率の目標値1.60が達成されるというこ



- とで掲げた数値である。1.60という目標があって各KPIが設定されているのではなく、総合戦略に掲げたKPIを全て達成することで、合計特殊出生率1.60が実現するという考え方で策定をしている。
- (出口委員) そうであるならば、合計特殊出生率1.60という数値は、単なる理想値ということも言えるのではないか。
- (長総合政策部長) 確かに高い数値ではあるとは思いますが、目標達成に向けて各事業をしっかりと取り組んでいきたいと考えている。
- (出口委員) 1.60という数値に特にこだわっているというわけではなく、少しでも合計特殊出生率が上がればよいと思っている。ただ、この総合戦略を見ると、児童館の整備などハード整備をはじめとした事業が掲げられているが、議会から提案した直接給付がやはり有効だと思うので、その点を引き続き検討いただきたい。
- (事務局) 先ほど、ご質問にあった一点目についてであるが、合計特殊出生率は、厚生労働省が発表するベイズ推定値というものをを用いている。市町村単位のベイズ推定値は5年ごとに公表され、次は平成25年から平成29年までの期間の推定値が、今後公表される予定であるため、現在は数値としてお示しできていないものである。公表後は、最新値として記載をさせていただく。
- (鈴木委員) 私は「3 駅前広場事業実施箇所数」について。花でのお出迎えということで、市内の駅3か所で行っていることはとても良いことである。ご承知の通り、小金井駅には北桜高校も花を飾ってくれているが、ただ一つ残念なのが、水やりが十分にできていないようで、すぐに枯れてしまっている。是非、水やりなども行っていただきたい。また、お出迎えという観点で言えば、下野市には3つの駅があると自慢をしているところであるが、駅のトイレが汚い。特に石橋駅は、ツアーバスなどの利用者がいるため、使用頻度が多いこともあり、昨年、建設水道部にお問い合わせにいき重点的に掃除をしていただいている。確かに、便器付近は掃除がされているが、その他目線の先となる壁などは汚いままである。是非、トイレ全体を掃除していただくようお願いしたい。
- (中村会長) ご質問ではなく、ご意見ということですね。ありがとうございます。
- (島田委員) 「11 本場結城紬展示会開催回数」についてであるが、これが総合戦略の「③雇用・就業機会の拡充」という項目の中にあげられているが、この指標が雇用に直接つながると思えない。そこで、このKPI自体を結城紬に関する雇用を増やす指標に変更するか、または、このKPIを基本目標②にある「(イ) 魅力あふれる『観光のまちづくり』」という項目の中に移せば、結城紬のPRという意味合いで適していると思われる。是非、検討していただければと思う。
- (中村会長) 私たちで策定した総合戦略ではあるが、改めて、このようにしたら

- より良くなるのではないかという箇所も出てくるかもしれない。この点は、事務局の方で検討をお願いする。
- (島田委員) 次に、「52 児童館利用者数」についてであるが、ここにあげられている人数は、学童保育室を利用した人も含まれているのか。それとも、児童館そのものを利用した人数か。
- (山中健康福祉部長) 学童保育室を利用した人数は含めず、あくまで児童館を利用した人数であり、5館の施設を利用した人数の合計となっている。
- (島田委員) わかりました。次に「57 休日保育事業実施園数」について質問したい。市のホームページでは、あおば保育園とむつみ愛泉こども園の2か所となっているが、あおば保育園のホームページを見ると、日曜・祝日はお休みとなっているが、実際に休日保育は実施されているのか。
- (山中健康福祉部長) 各園のホームページを確認してはいないが、休日保育に関しては、それぞれの園の在園児が対象となるが、実施されていると報告を受けている。
- (中村会長) その点は、実際に園のホームページ等を確認していただくということで、よろしくお願ひしたい。他にありましたら、どうぞお願ひします。
- (佐間田委員) 先ほど話題に出ていた「かんぴょう簡単レシピ」に記載されているかんぴょうの成分表を見ると、カルシウムや鉄がとても多く含まれおり、驚いた。私は助産師をしており、妊婦さんにカルシウムや鉄を多くとるようにアドバイスをしている。今まで妊婦さん向けの雑誌や本にはかんぴょうのことが記載されていることを見たことがない。かんぴょうを普及させたいのであれば、この点に着目し、例えば、健康増進課の窓口でPRを行ったり、また、妊婦さん向けの雑誌などに売り込むということも検討してみてはどうか。
- (中村会長) 私にはない視点であり、各分野の方が参加される審議会ということで、様々なアイデアが出され、素晴らしいと思う。それでは続いて、基本目標④に関するKPI、評価分析シートでいうと17ページ以降についてお願ひしたい。
- (鈴井委員) 「86 講座・講演会の年間受講者数」について、平成28年度の実績は8,574人ということで伸びているが、下野市は場の提供として、およそ185もの講座があり大変多い。しかしながら、総合戦略の説明の中にも「学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援」と記載があるが、社会還元となる講座をさらに増やしてほしい。超高齢社会にあたり、どう市民を協働させるか。それには、やはり学ぶ機会が重要だと思うので、教育委員会に限らず、生涯学習の機会を増やして行ってほしい。また、同じく意見としてであるが、「114 共同連携事業」では、小山定住自立圏の関係で大幅に実績が伸びた。これには、多額の予算がつくと思われるので、さら

に力を入れて、積極的に取り組んでほしい。質問としては、「98しもつけ風土記の丘資料館入館者数」が伸びている。とても良いことである。下野市には、もう一つ薬師寺歴史館があるが、こちらの入館者数はどのような状況なのか。次回、調べて報告をお願いします。最後に、「105 市民と企業・行政の協働による環境保全活動の実施」について、実績値で2事業とあるが、これはどのような事業を行ったのか教えてほしい。

(中村会長) 薬師寺歴史館については、細かな数値となるので次回報告していただくとして、最後にありました環境保全活動について、お答えいただきたい。

(手塚市民生活部長) 国分寺公民館にて開催した親子自然観察会と、南河内の東公民館において開催した親子吉田地区自然観察会の2事業を平成28年度は実施した。

(鈴木委員) わかりました。

(小島委員) 「72 認知症サポーター数」について、昨年度、目標値を上方修正いただいたところであるが、すでに現在延5,000人を超えており、平成31年度の延5,500人は低いように思われる。さらに、上方修正してもいいのではないか。

(事務局) この点については、昨年度、小島委員よりご意見があり、高齢者保健福祉計画を踏襲しながら、上方修正を行った。目標値のさらなる上方修正ということに関しては、検討させていただく。

(小島委員) 延人数ということは、数値が下がるということはないわけである。昨年度、上方修正を行っていただいたが、それをも上回る実績が上がっているのだから、他のKPIも上方修正を行っているので、併せて修正を検討いただけないかと思う。延7,000人という目標値は難しいか。

(中村会長) すでに当初の目標を上回った場合でも、目標値を当初から変更しないという選択肢もあるとは思う。見せ方という面ではあるが、その方が、当初設定した目標値に比べ、5年間でこれだけの実績を上げたという、すごさが分かるかもしれない。初めて見る人は、平成27年度の策定時に、その上方修正した後の目標値を、当初からの目標値と見るかもしれない。

(山中健康福祉部長) ご意見ありがとうございます。小島委員のご指摘の通り、本年度、現時点で延5,000人を超えているところである。目標値については、上方修正する方向で検討したい。

(中村会長) それだけ実績を上げていることは喜ばしいことではあるので、上方修正したことが分かるように記載しておくことも重要かもしれない。その点も含めて、お願いしたい。次の方、お願いします。

(伊沢委員) 具体的なKPIは設定されていないが、総合戦略では、基本目標④の中に「(ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり」という項

- 目がある。現在、車いすを使い小学校に通う生徒がおり、来年中学校に進学する。しかし、中学校が車いすに対応しておらず、このままだと他の市町村に引越しをしなければならないという話を聞いている。その点について、ご検討いただけないか。
- (中村会長) なにかそれに合わせた具体的なK P Iを設定すべきであるというご意見か。
- (伊沢委員) 具体的にK P Iとして設定すべきかどうかも含めて、中学校の車いす対応について前向きに検討していただけないかというお願いである。
- (中村会長) 今までは、目標値の修正等、既存のK P Iを変更するというものであったが、今まで全くなかったK P Iを新たに設けるということは可能なのか。
- (事務局) 新たなK P Iを設定することは、本審議会において審議いただき、了承いただければ可能である。そのためにも、まずは、庁内組織である地方創生推進本部に持ち帰り、十分に検討する必要がある。
- (中村会長) それでは、地方創生推進本部でのご検討をお願いします。
- (島田委員) 「106 公共交通の整備の取組の満足度」についてお伺いする。評価分析シートに記載の通り、平成28年度に運行の時間帯や曜日の変更が行われた。日曜日の運行がなくなり、一部運行時間帯が変更された。ここには、「変更前の時間帯より利用者が増加した」と記載があるが、日曜日の運行がなくなったことで全体の利用者数は減ったと私は認識している。利用者数が減ったということは、満足度が下がったということではないか。また、現在は、石橋、国分寺、南河内の各地区で1台ずつのデマンドバスで運行を行っているが、南河内の利用者は、石橋や国分寺の利用者の倍である。このままの運行では、満足度が上がるとは思えない。今後、検討が必要と思われるが、いかがか。
- (中村会長) 満足度を上げるためには、きめ細やかな配慮というものが必要となってくるだろう。ただし、コストをはじめとした様々なことを総合的に考慮して判断していくことになると思われる。この点、いかがか。
- (手塚市民生活部長) 平成28年、平成29年と2か年での委託契約をして運行を行っている。来年に改めて契約をするにあたっては、島田委員からのご指摘の通り、利用者がより利用しやすいようにしていく必要があることから、現在、この点に関しての会議を開催し、その中で検討をしている。大幅な変更はできないが、利用者へのアンケート調査なども踏まえて、運行形態についても含めて考えていきたい。
- (中村会長) わかりました。時間が迫っていますが、その他、ご意見ありましたらお願いしたい。
- (三橋委員) 「70 出会いふれあいサービス事業利用者数」については、一般

介護予防事業の一環として展開するため廃止となったが、この事業を利用していただいていたすべての方が地域ふれあいサロンや介護予防の方に行くとは限らない。この事業を廃止したことによって、居場所がなくなってしまった方々がどの程度いるのか。廃止したことで見えてくる部分があると思うので、今後のためにも、その点も数値としてきちんと把握をしていかないといけないのではないかと。

(山中健康福祉部長) 三橋委員はご存知のことと思われるが、この事業自体は、一般介護予防事業として実施しているところであり、法の改正に伴い、市が法定事務として行う事業をK P Iとして載せることがいかなものかという考えから、総合戦略のK P Iとしては廃止するということである。事業自体はサービス事業として実施していることを、申し添えする。

(三橋委員) ありがとうございます。事業自体が実施されていることは承知している。しかし、事業名が変わってしまうと、行かなくなってしまう方もいることを知っていただくと、今後の介護予防の参考にしていただけるものと思う。

(山口(貴)委員) ページが遡ってしまうが、「37 観光自転車利用者数」について一点。平成28年度の実績値が伸びている中で、栃木県ではdestinationキャンペーンが平成30年度にあり、市としても着地型観光に向けて取り組んでいることと思う。そのような機運の中で、期待も込めて、さらに目標値を上方修正することもできるのではないかとと思うが、可能なかどうかも含めてお聞きしたい。

(中村会長) 今回、上方修正が提案されたが、大きなイベントもあることから、さらに上方修正した方が良いというご意見である。その点、いかがか。

(高德産業振興部長) 山口(貴)委員には、ディグリングマップをはじめ自転車での市内観光についてご尽力いただいているところであり、この目標値では物足りない部分もあるのではないかとと思う。確かに、destinationキャンペーンもあり、現在のレンタサイクルの自転車の台数で足りるのかも含めて、総合的に検討したい。

(山口(貴)委員) ありがとうございます。

(中村会長) それでは、議題(1)は以上とする。

## (2) 地方創生関連事業の取組状況について

(中村会長) 議題(2)「地方創生関連事業の取組状況について」。これは事務局からの報告ということになる。時間もあまりないので、簡潔に報告をお願いします。

(事務局) 平成29年度における下野市の地方創生関連事業の取り組み状況について、資料4に基づき説明。

(中村会長) お時間ありませんが、何かご意見はあるか。

(中村(節)委員) 薬師寺のARアプリについてであるが、バーチャルリアリティという、ゴーグルタイプのを装着して体験するものをイメージする方が多いと思う。薬師寺歴史館に実際に体験をしに行ったが、タブレットを貸し出し、それを使って当時の様子を見るものであった。今は、スマホをセットするとゴーグルになるタイプのものもあると聞く。是非、そのような装着するタイプのもも検討してもらえないか。

(坪山教育次長) 実際、装着タイプのものについても検討したが、装着タイプのは、医学的に証明されたわけではないが、子どもの目にはよろしくないという意見が一部であることや、装着したまま歩くと危険であり、事故やけがにつながりかねないという理由から、今回のようなタブレットで体験できるものにした次第である。

(中村(節)委員) 30分や1時間で目に良くないのか確認していただいて、可能であれば装着タイプも検討していただけたら思う。

(中村会長) ありがとうございます。他になければ、次に進めさせていただきます。

### (3) その他

(中村会長) 最後に、議題(3)「その他」であるが、委員の皆様から何もないければ、事務局からお願いしたい。

(委員) <意見なし>

(中村会長) 事務局からはあるか。

(長総合政策部長) 先ほどの議題(1)に関して、一点だけ確認をさせていただきたい。中学校での車いす対応の件については、新たなKPIを設置するかどうかも含めて検討させていただきたいと思う。しかし、「10 近隣市町等との共催による合同説明会の開催」のような、回数を目標としているKPIについて、それを開催したことでの効果が分かるKPIを新たに設定するという意見もあったかと思うが、こちらの認識では、実績値の分析の欄にその辺のことを若干書き加えるということに対応したいが、それではよろしいか確認をしたい。

(中村会長) 効果が分かるようなKPIを是が非でも新たに作り、ねじ込みたいというわけではなく、分析の欄で、それを開催したことでのどのような効果があったのかを書いていただくということでも構わないと思うが、委員の皆様いかがか。

(委員) <異議なし>

(中村会長) 可能な範囲でお願いします。それでは、議事は以上となります。委員の皆様、多くのご発言ありがとうございました。それでは進行を事務局へお返しいたします。

○閉会  
(事務局)

委員の皆様、そして中村会長ありがとうございました。以上をもちまして平成29年度第1回下野市総合計画審議会を閉会する。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長.....

署名委員.....

署名委員.....